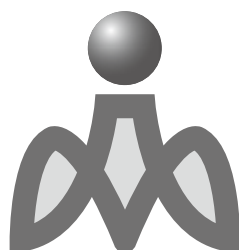


山 梨 県

商工会地区

中小企業景況調査報告書

〔令和7年7月～9月実績〕
〔令和7年10月～12月予測〕



未来に敏感、人が中心

山梨県商工会連合会

目 次

I 調 査 要 領	1
II 景 況	
1. 産業全体の業況概観	2
2. 製造業の動向	
(1) 景 況 概 観	3
(2) 主な項目で見る業況	3
3. 建設業の動向	
(1) 景 況 概 観	6
(2) 主な項目で見る業況	6
4. 小売業の動向	
(1) 景 況 概 観	9
(2) 主な項目で見る業況	9
5. サービス業の動向	
(1) 景 況 概 観	12
(2) 主な項目で見る業況	12

【Ⅰ】 調 査 要 領

1. 調 査 対 象

(1) 対象地区 19商工会 (2) 対象企業数 165企業 (3) 回答企業数 165企業

2. 調査対象期間

第2四半期 令和7年7月～9月期 「調査時点：令和7年9月1日」

3. 調 査 方 法

県内の調査対象企業を19商工会の経営指導員等が訪問面接調査

4. 調査対象企業（モニター企業）の商工会別、業種内訳

商工会名	製 造 業	建 設 業	小 売 業	サービス業	計
都 留 市	3	2	3	4	12
山 梨 市	1	2	2	3	8
大 月 市	2	1	3	2	8
韮 崎 市	2	2	1	2	7
南アルプス市	3	2	4	6	15
北 杜 市	4	2	5	4	15
甲 斐 市	4	3	5	2	14
笛 吹 市	3	2	4	6	15
上 野 原 市	2	1	2	2	7
甲 州 市	3	1	2	3	9
中 央 市	2	1	2	1	6
市 川 三 郷 町	2	1	1	2	6
身 延 町	1	1	2	2	6
南 部 町	1	0	1	1	3
富 士 川 町	1	1	1	2	5
昭 和 町	1	1	3	3	8
西 桂 町	0	0	1	1	2
南 都 留 中 部	1	1	2	2	6
河 口 湖	1	1	6	5	13
計	37	25	50	53	165

5. そ の 他

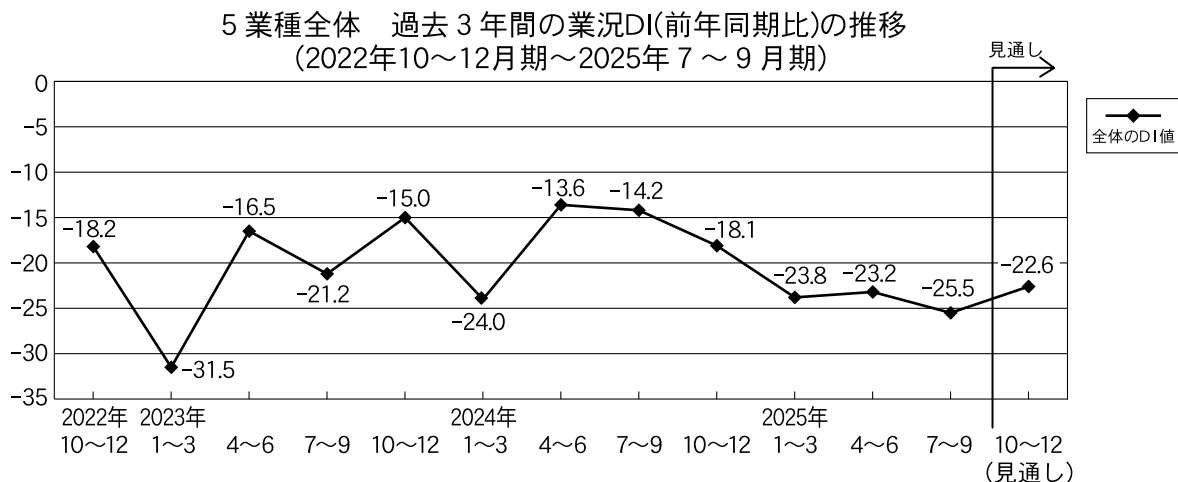
本報告書のD Iとは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目について前年同期と比較して、増加（上昇、好転、長期化等）とする企業割合と、逆に減少（低下、悪化、短期化等）とする企業割合の差を示すものである。

【Ⅱ】 景 況

1. 産業全体の業況概観

本県における5業種全体の業況判断D I、及び、産業別の業況判断D Iについてみる。

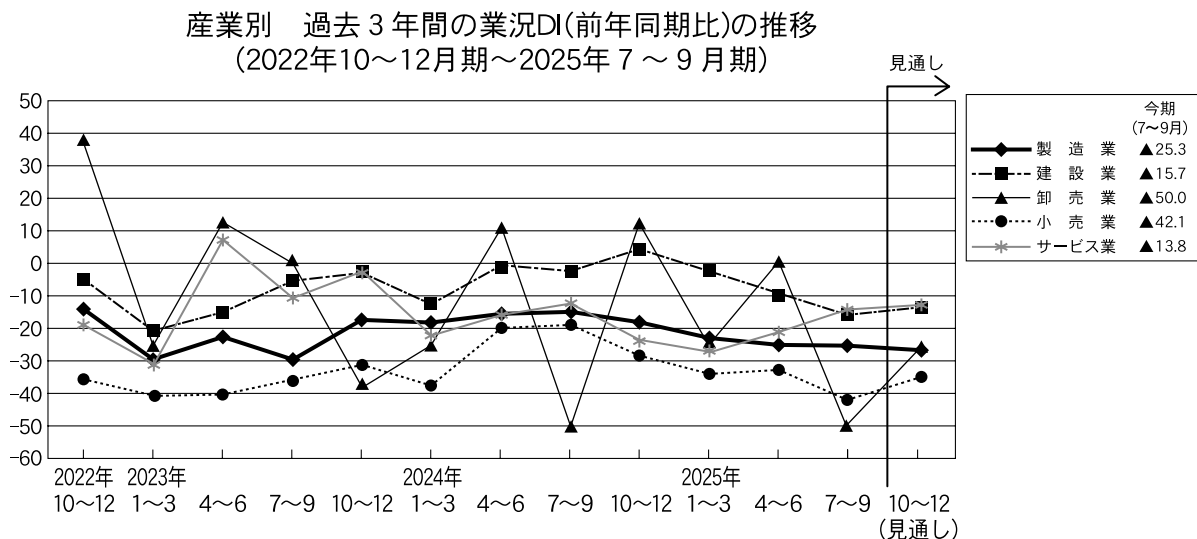
まず、前年同期比でみた過去3年間の5業種全体の業況判断D Iである。今期の業況判断D I（前年同期比）は▲25.5であり、前期比で▲2.3ポイント悪化している。一方、来期については▲22.6へと若干ながら改善の見通しとなっている。



次に、前年同期比でみた過去3年間の産業別の業況判断D Iである。

製造業は▲25.3で前期比▲0.3ポイント、建設業が▲15.7で前期比▲5.2ポイント、卸売業が▲50.0で前期比▲50.0ポイントの大幅悪化、小売業が▲42.1で前期比▲9.3、サービス業が▲13.8で前期比+7.2ポイントであった。

来期は、製造業だけが若干悪化の見通しとなっているが、それ以外の全産業は今期比で改善の見通しとなっている。



【注記】 上記、産業全体の業況概観については、商工会調査対象165企業に甲府・富士吉田地域等からの105企業を含めた270サンプルを使用。卸売業については、中小企業基盤整備機構調査によるデータのみを使用。次ページからの産業別景況D Iについては、商工会地区企業のサンプル分析に基づくものである。

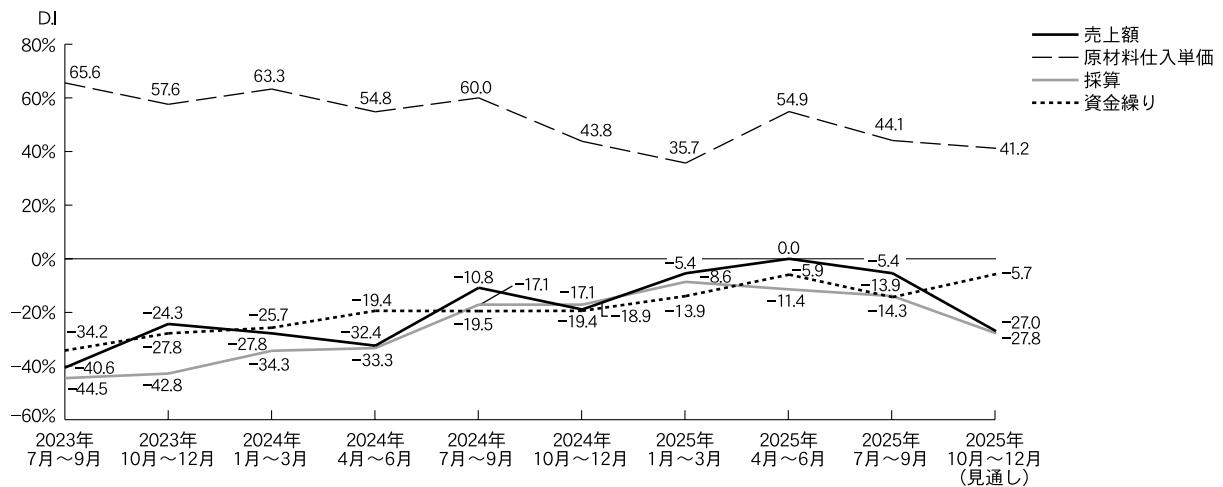
2. 製造業の動向

(1) 景況概観

売上額D Iは、今期▲5.4と前期比で5.4ポイント悪化し、来期はさらに▲27.0へ大きく悪化の見通し。原材料仕入単価D Iは、今期44.1と前期比で10.8ポイント下降（改善）し、来期は41.2へ下降（改善）の見通し。採算D Iは、今期は▲13.9と前期比で2.5ポイント悪化し、来期は▲27.8へ悪化の見通しである。資金繰りD Iは、今期▲14.3と前期比で8.4ポイント悪化したが、来期は▲5.7へ改善の見通しである。

今期は原材料仕入単価D Iだけが改善、その他のD Iは悪化した。来期は原材料仕入単価D I、資金繰りD Iが改善の見通し、売上額D I、採算D Iが悪化の見通しである。

山梨県 製造業 主要景況項目の推移－前年同期比－



(2) 主な項目でみる業況

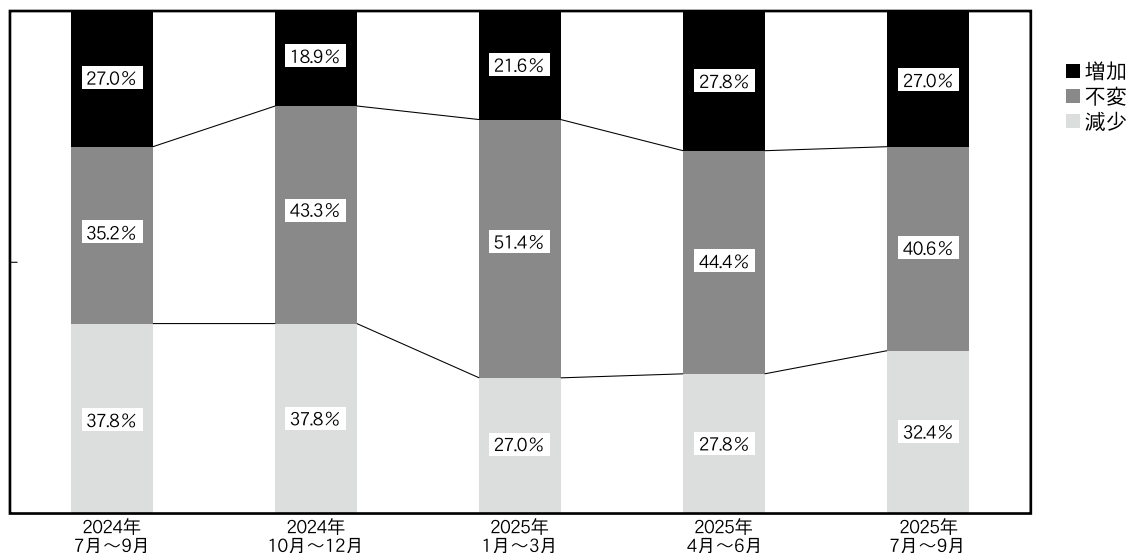
① 売上額（売上額D Iの内容（回答企業数37社（前回36社）））

「増加」と答えた企業の割合は、27.0%（10社）に減少（回答社数では変化なし）している。

「不変」は40.6%（15社）に減少（前期比▲1社）し、

「減少」は32.4%（12社）に増加（前期比＋2社）している。

山梨県 製造業 売上額の状況－前年同期比－



② 採算（採算D I の内容（回答企業数36社（前回35社）））

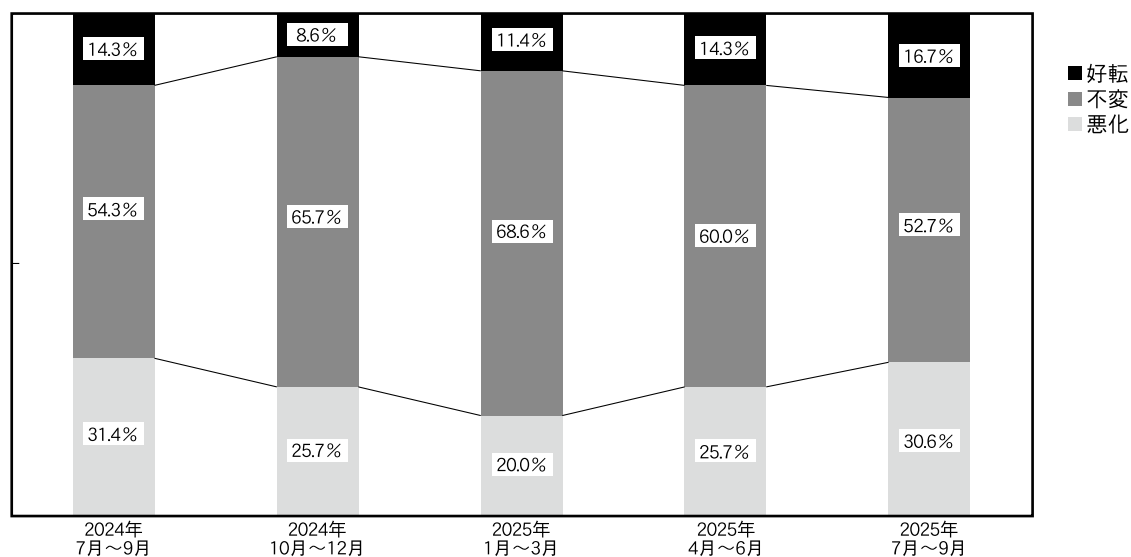
※ 本調査では、経常利益を「採算」として尋ねている。

「好転」と答えた企業の割合は、16.7%（6社）に増加（前期比+1社）している。

「不変」は52.7%（19社）に減少（前期比▲2社）、

「悪化」は30.6%（11社）に増加（前期比+2社）している。

山梨県 製造業 採算の状況－前年同期比－

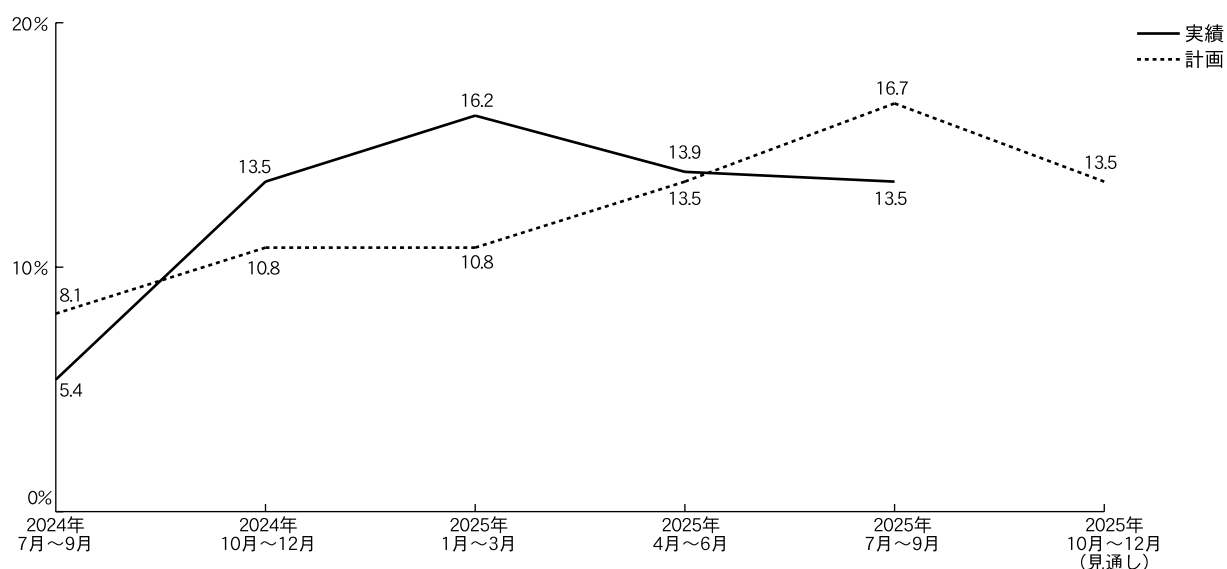


③ 設備投資（直近1年間における設備投資の状況（回答企業数37社））

今期において、設備投資を行った企業の割合は13.5%（5社）であった。その設備投資の内容は、「車両・運搬具」「付帯施設」「OA機器」が2件ずつ、「工場建物」「生産設備」「福利厚生施設」が1件ずつであった。

来期の計画についても、13.5%（5社）の企業が予定している。その設備投資の内容は「車両・運搬具」が2件、「工場建物」「付帯施設」「その他」が1件ずつである。

山梨県 製造業 設備投資の状況



④ 経営上の問題点（回答企業数31社）

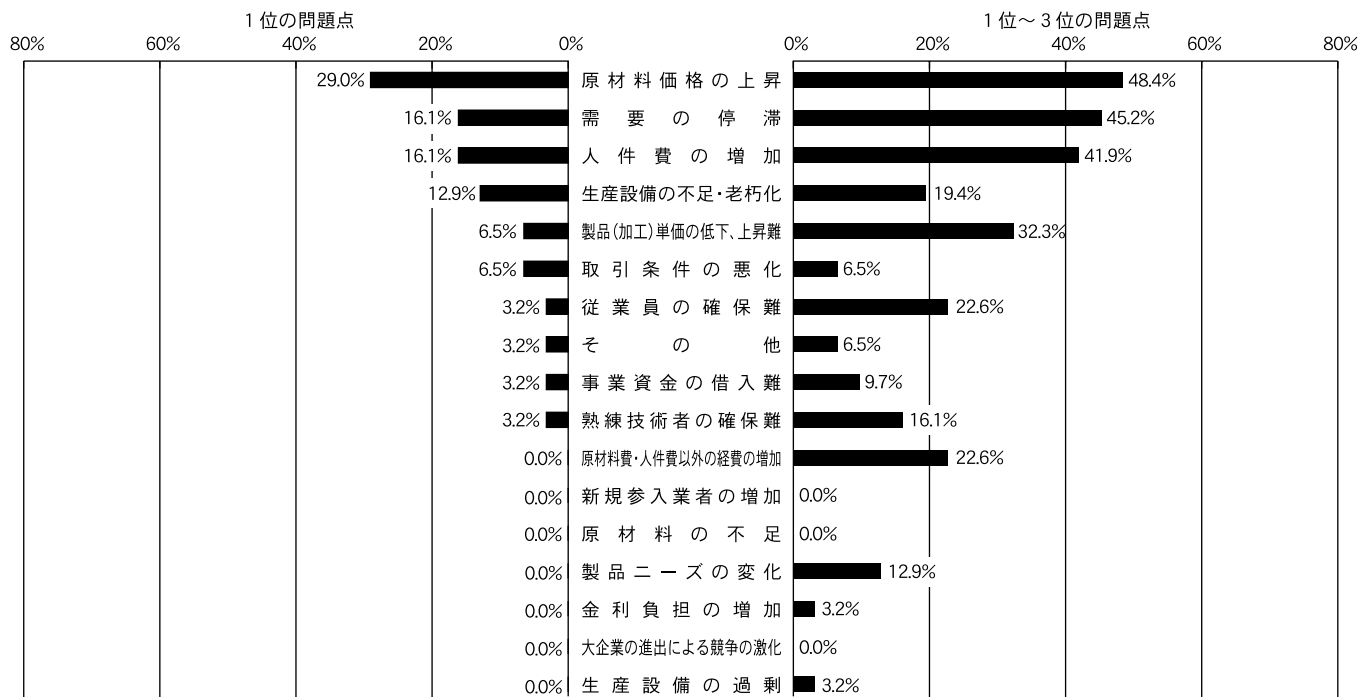
まず、経営上の問題点として、「1位」に挙げられたものからみていく。

1番目に多かったのは、「原材料価格の上昇」の29.0%（9社）であり、2番目は「需要の停滞」と「人件費の増加」の16.1%（5社）であった。

次に、「1位～3位」に挙げられたものをみる。

こちらも、1番目に多かったのは「原材料価格の上昇」の48.4%（15社）であった。2番目に多かったのは「需要の停滞」の45.2%（14社）であった。

山梨県 製造業 経営上の問題点



⑤ 回答企業の内訳

業種別

業 種	企業数	構成比(%)
食料品製造業	5	13.5
飲料・飼料・たばこ製造業	1	2.7
印刷・関連業	2	5.4
化学工業	1	2.7
プラスチック製品製造業	3	8.1
金属製品製造業	3	8.1
一般機械器具製造業	13	35.2
電気機械器具製造業	2	5.4
精密機械器具製造業	1	2.7
その他製造業	6	16.2
合 計	37	100.0

従業員規模別

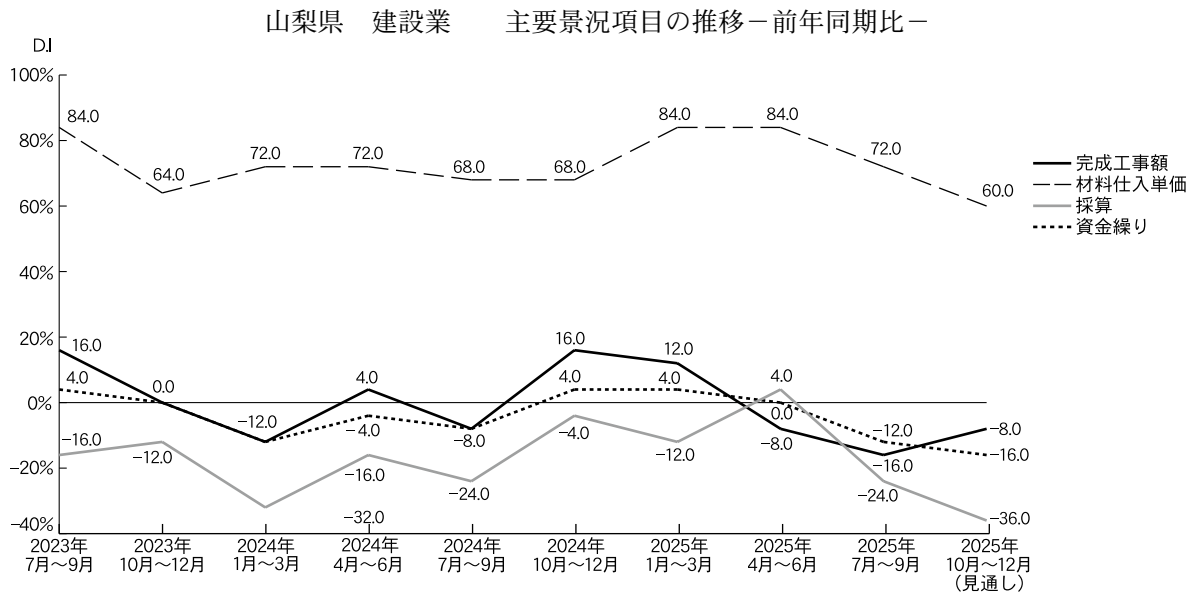
従業員数	常 雇 い		臨時等含む	
	企業数(社)	構成比(%)	企業数(社)	構成比(%)
2人以下	19	51.4	16	43.3
3人～5人以下	9	24.3	7	18.9
6人～10人以下	6	16.2	10	27.0
11人～20人以下	3	8.1	4	10.8
合 計	37	100.0	37	100.0

3. 建設業の動向

(1) 景況概観

完成工事額D Iは、今期▲16.0と前期比で8.0ポイント悪化したが、来期は▲8.0へ改善の見通し。材料仕入単価D Iは、今期72.0と前期比で12.0ポイント下降（改善）し、来期も60.0へ下降（改善）の見通しである。採算D Iは、今期▲24.0と前期比で28.0ポイント大きく悪化し、来期も▲36.0へ悪化の見通し。資金繰りD Iも、今期▲12.0と前期比で12.0ポイント悪化し、来期も▲16.0へ悪化の見通しである。

今期は材料仕入単価D Iだけが改善、その他のD Iは悪化した。来期は完成工事額D I、材料仕入単価D Iが改善の見通しで、採算D I、資金繰りD Iが悪化の見通しとなっている。



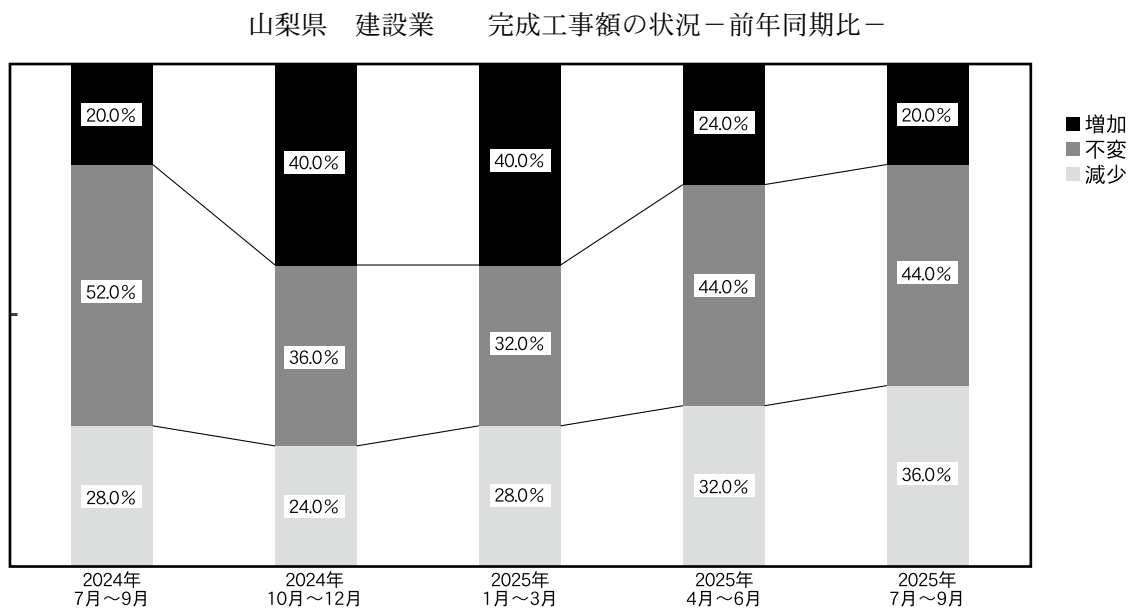
(2) 主な項目で見る業況

① 完成工事額（完成工事額D Iの内容（回答企業数25社））

「増加」と答えた企業の割合は、20.0%（5社）に減少（前期比▲1社）している。

「不変」は44.0%（11社）で前回と変化なし、

「減少」は36.0%（9社）に増加（前期比+1社）している。



② 採算（採算D I の内容（回答企業数25社））

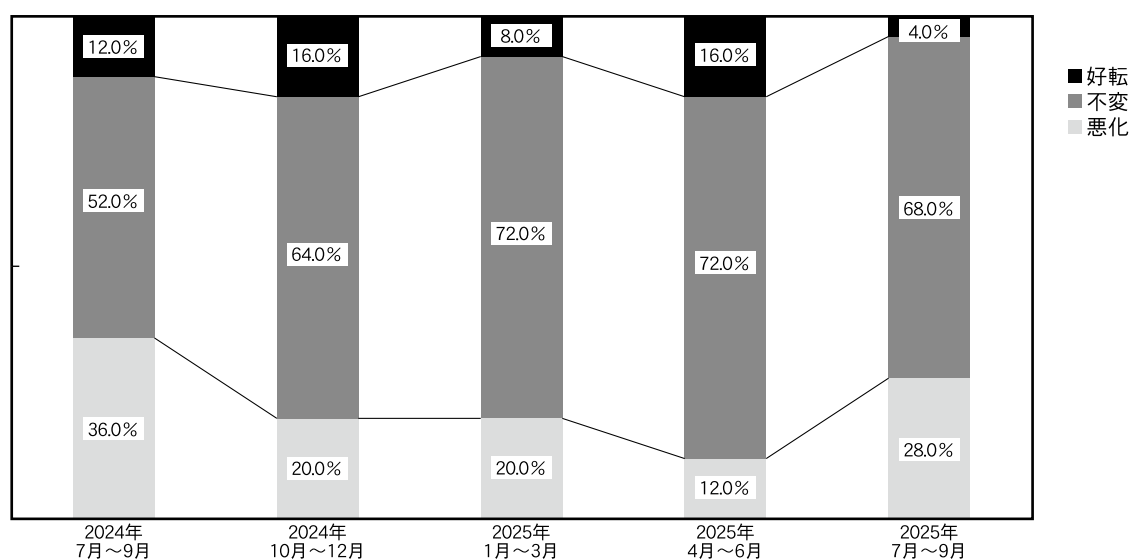
※ 本調査では、経常利益を「採算」として尋ねている。

「好転」と答えた企業の割合は、4.0%（1社）に減少（前期比▲3社）している。

「不変」は68.0%（17社）に減少（前期比▲1社）、

「悪化」は28.0%（7社）に増加（前期比＋4社）している。

山梨県 建設業 採算の状況－前年同期比－

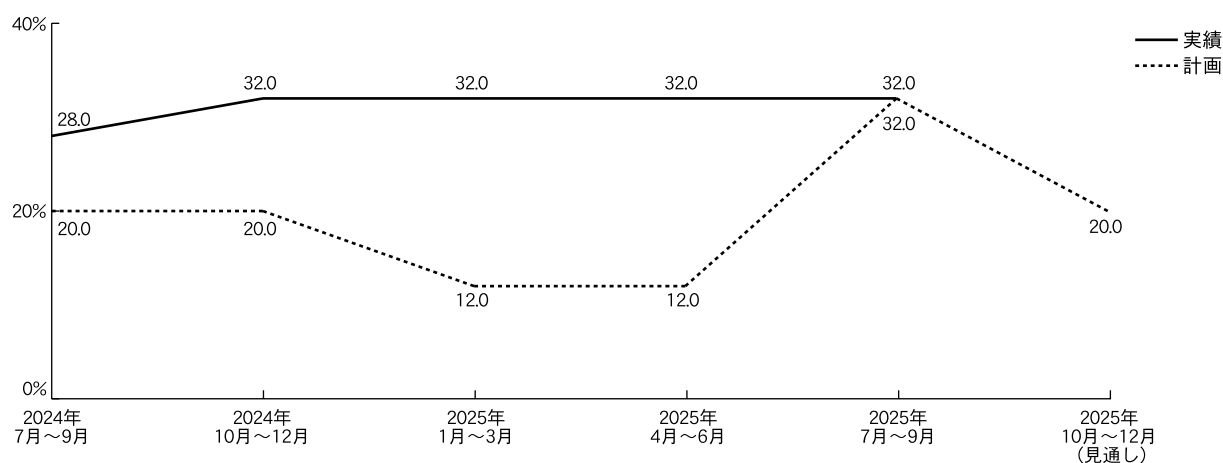


③ 設備投資（直近1年間における設備投資の状況（回答企業数25社））

今期において、設備投資を行った企業の割合は32.0%（8社）であった。その設備投資の内容は、「車両・運搬具」が4件、「土地」「OA機器」「その他」が2件ずつ、「建設機械」「付帯施設」が1件ずつであった。

来期の計画については、20.0%（5社）の企業が予定している。その設備投資の内容は、「建設機械」「車両・運搬具」が2件ずつ、「土地」「OA機器」が1件ずつになる。

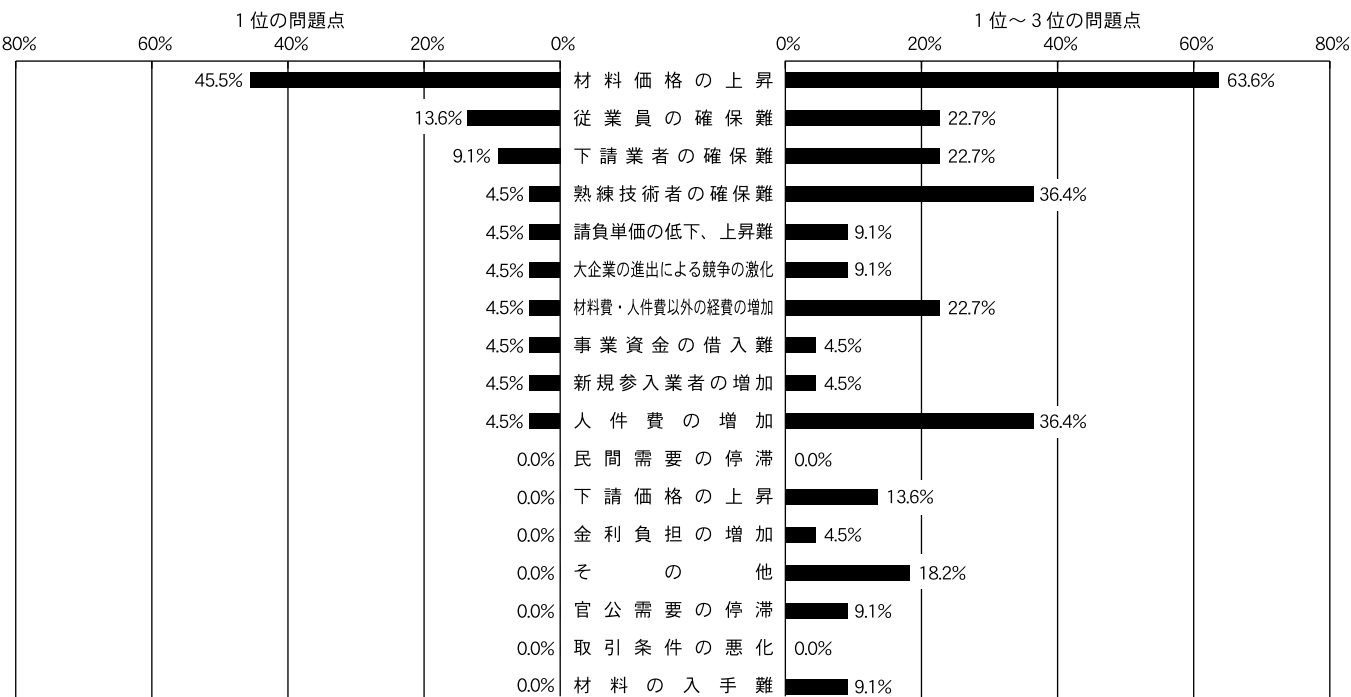
山梨県 建設業 設備投資の状況



④ 経営上の問題点（回答企業数22社）

まず、経営上の問題点として、「1位」に挙げられたものからみていく。
1番目に多かったのは、「材料価格の上昇」の45.5%（10社）であり、18期連続。2番目に多かったのは「従業員の確保難」の13.6%（3社）であった。
次に、「1位～3位」に挙げられたものをみる。
こちらも、1番目に多かったのは「材料価格の上昇」の63.6%（14社）であるが、2番目に多かったのは「熟練技術者の確保難」と「人件費の増加」の36.4%（8社）であった。

山梨県 建設業 経営上の問題点



⑤ 回答企業の内訳

業種別

業 種	企業数	構成比(%)
総合工事業	19	76.0
職別工事業	4	16.0
設備工事業	2	8.0
合 計	25	100.0

従業員規模別

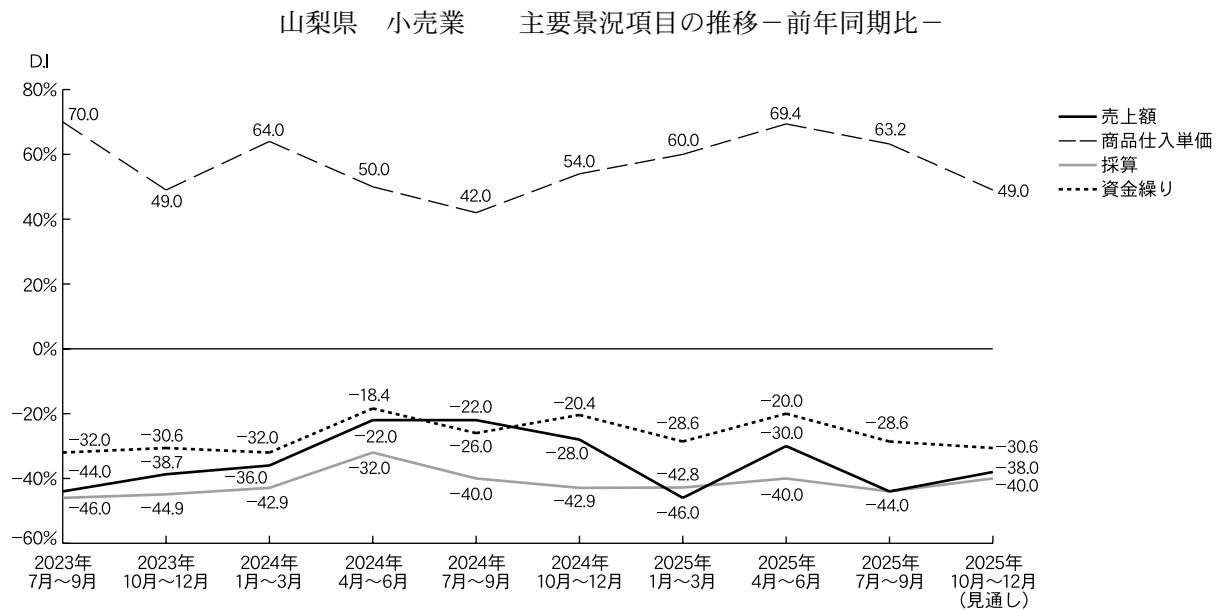
従業員数	常 雇 い		臨時等含む	
	企業数(社)	構成比(%)	企業数(社)	構成比(%)
2人以下	9	36.0	8	32.0
3人～5人以下	6	24.0	7	28.0
6人～10人以下	5	20.0	5	20.0
11人～20人以下	5	20.0	5	20.0
合 計	25	100.0	25	100.0

4. 小 売 業 の 動 向

(1) 景 況 概 観

売上額D I は、今期▲44.0と前期比で14.0ポイント悪化したが、来期は▲38.0へ改善の見通しである。商品仕入単価D I は、63.2と前期比で6.2ポイント下降（改善）し、来期も49.0へ下降（改善）の見通し。採算D I は、▲44.0と前期比で4.0ポイント悪化し、来期は▲40.0へ改善の見通し。資金繰りD I は、今期▲28.6と前期比で8.6ポイント悪化し、来期も▲30.6へ悪化の見通しである。

今期は商品仕入単価D I だけが改善し、その他のD I は悪化した。来期は売上額D I、商品仕入単価D I、採算D I が改善の見通し、資金繰りD I が悪化の見通しである。



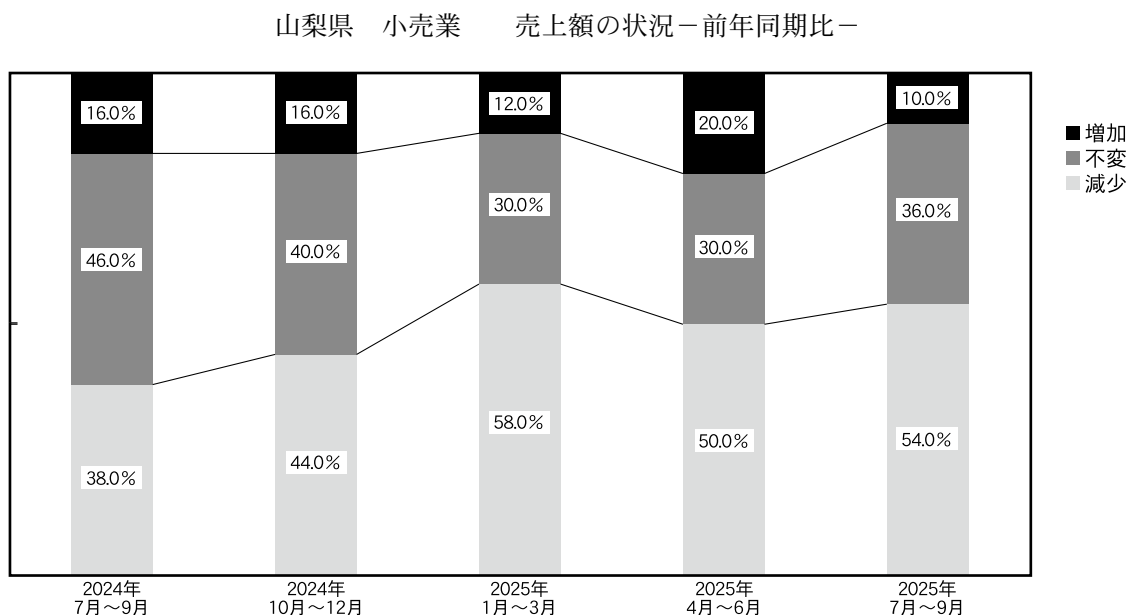
(2) 主な項目でみる業況

① 売上額（売上額D I の内容（回答企業数50社））

「増加」と答えた企業の割合は、10.0%（5社）に減少（前期比▲5社）している。

「不変」は36.0%（18社）に増加（前期比＋3社）、

「減少」は54.0%（27社）に増加（前期比＋2社）している。



② 採算（採算D I の内容（回答企業数50社））

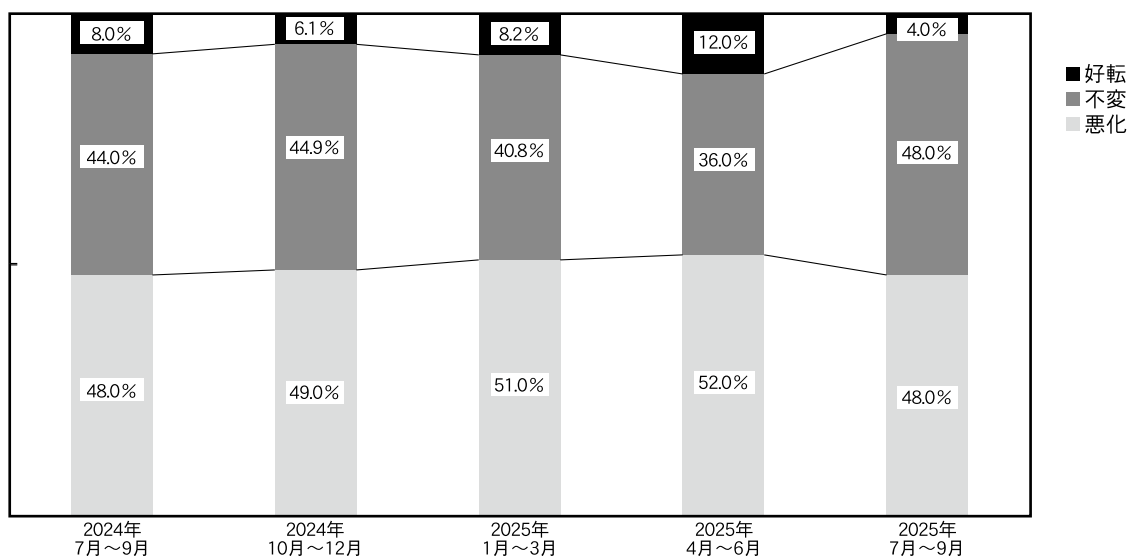
※ 本調査では、経常利益を「採算」として尋ねている。

「好転」と答えた企業の割合は、4.0%（2社）に減少（前期比▲4社）している。

「不変」は48.0%（24社）に増加（前期比＋6社）、

「悪化」は48.0%（24社）に減少（前期比▲2社）している。

山梨県 小売業 採算の状況－前年同期比－

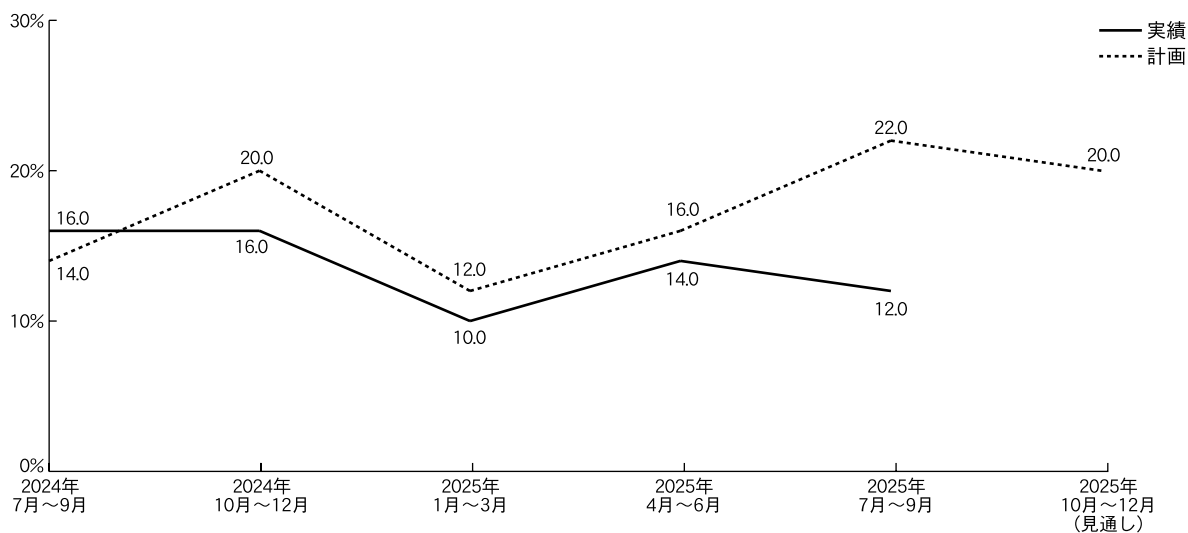


③ 設備投資（直近1年間における設備投資の状況（回答企業数50社））

今期において、設備投資を行った企業の割合は12.0%（6社）であった。その設備投資の内容は、「店舗」「OA機器」が2件ずつ、「土地」「車両・運搬具」「付帯施設」「その他」が1件ずつであった。

来期の計画については、20.0%（10社）の企業が予定している。その設備投資の内容は、「車両・運搬具」が4件、「店舗」「販売設備」「OA機器」が3件ずつ、「土地」「付帯施設」が1件ずつになる。

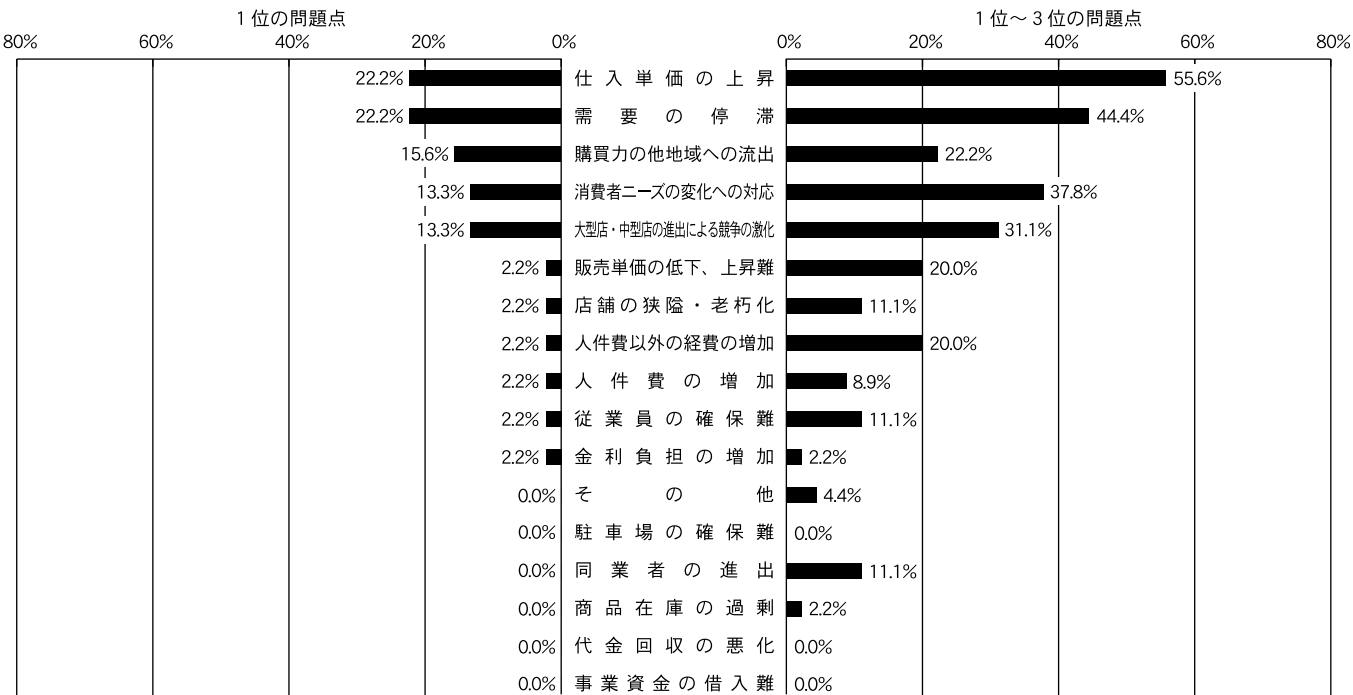
山梨県 小売業 設備投資の状況



④ 経営上の問題点（回答企業数45社）

まず、経営上の問題点として、「1 位」に挙げられたものからみていく。
1 番目に多かったのは、「仕入単価の上昇」と「需要の停滞」が同率で22.2%（10社）であった。
次に、「1 位～3 位」に挙げられたものをみる。
こちらは、1 番目に多かったのは、「仕入単価の上昇」の55.6%（25社）であり、2 番目は「需要の停滞」の44.4%（20社）であった。

山梨県 小売業 経営上の問題点



⑤ 回答企業の内訳

業種別

業 種	企業数	構成比(%)
織物・衣服・身の回り品小売業	11	22.0
飲食物品小売業	18	36.0
自動車・自転車小売業	2	4.0
家具・建具・じゅう器小売業	4	8.0
その他小売業	15	30.0
合 計	50	100.0

従業員規模別

従業員数	常 雇 い		臨時等含む	
	企業数(社)	構成比(%)	企業数(社)	構成比(%)
2 人以下	46	92.0	38	76.0
3 人～5 人以下	4	8.0	11	22.0
6 人～10 人以下	0	0.0	1	2.0
合 計	50	100.0	50	100.0

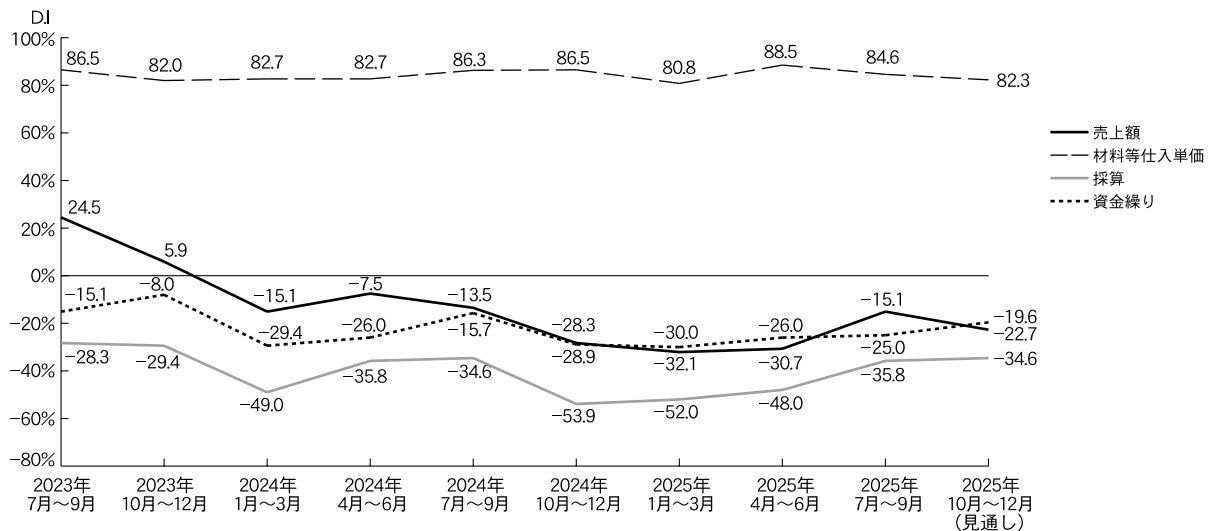
5. サービス業の動向

(1) 景況概観

売上額D Iは、今期▲15.1と前期比で15.6ポイント改善したが、来期は▲22.7へ悪化の見通し。材料等仕入単価D Iは、今期84.6と前期比で3.9ポイント下降（改善）し、来期は82.3へ下降（改善）の見通し。採算D Iは、今期▲35.8と前期比で12.2ポイント改善し、来期も▲34.6へ改善の見通し。資金繰りD Iも、今期▲25.0と前期比で1.0ポイント改善し、来期は▲19.6へ改善の見通しである。

今期、サービス業は全てのD Iが改善した。来期は、材料等仕入単価D I、採算D I、資金繰りD Iが改善の見通し、売上額D Iのみが悪化の見通しである。

山梨県 サービス業 主要景況項目の推移－前年同期比－



(2) 主な項目でみる業況

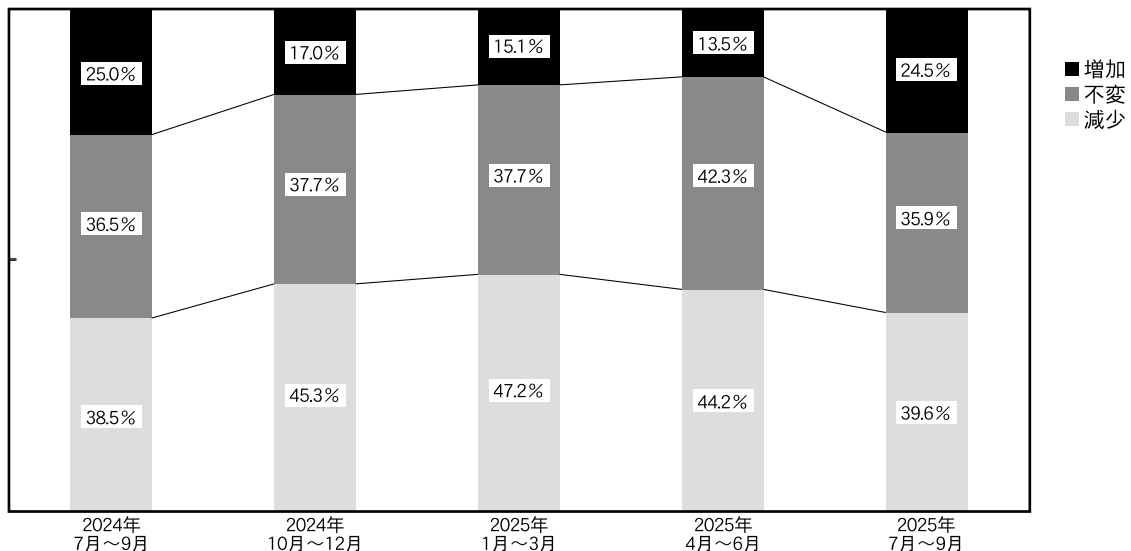
① 売上額（売上額D Iの内容（回答企業数53社（前回52社）））

「増加」と答えた企業の割合は、24.5%（13社）に増加（前期比＋6社）している。

「不変」は35.9%（19社）に減少（前期比▲3社）、

「減少」は39.6%（21社）に減少（前期比▲2社）している。

山梨県 サービス業 売上額の状況－前年同期比－



② 採算（採算D I の内容（回答企業数53社（前回52社）））

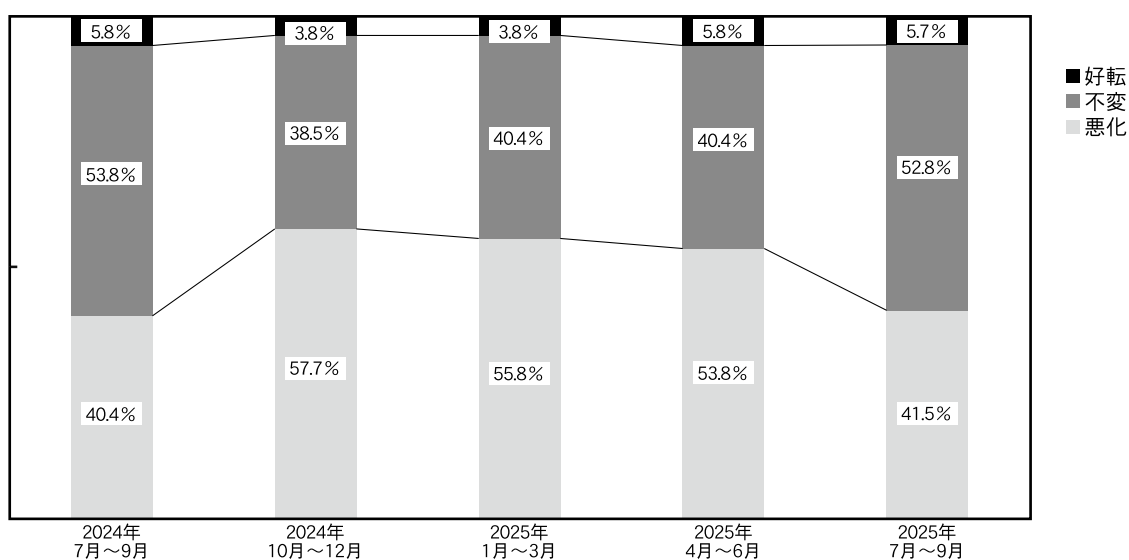
※ 本調査では、経常利益を「採算」として尋ねている。

「好転」と答えた企業の割合は、5.7%（3社）に減少（回答社数は変化なし）している。

「不変」は52.8%（28社）に増加（前期比＋7社）、

「悪化」は41.5%（22社）に減少（前期比▲6社）している。

山梨県 サービス業 採算の状況－前年同期比－

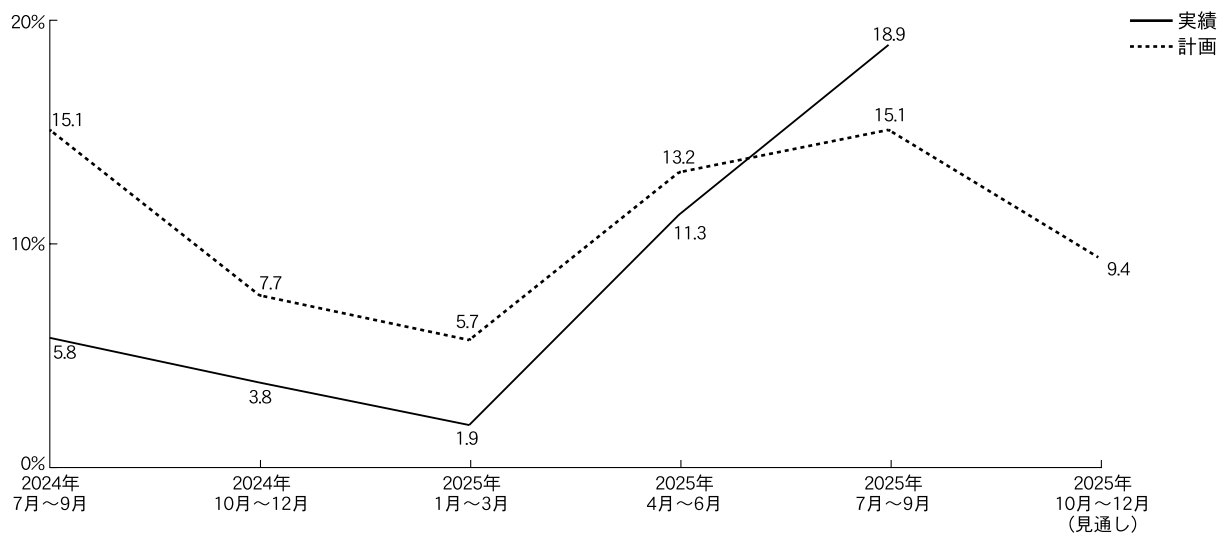


③ 設備投資（直近1年間における設備投資の状況（回答企業数53社））

今期において、設備投資を行った企業の割合は18.9%（10社）であった。その設備投資の内容は、「サービス」「車両・運搬具」が4件ずつ、「建物」「付帯施設」「OA機器」「その他」が1件ずつであった。

来期の計画については、9.4%（5社）の企業が予定している。その設備投資の内容は、「サービス」が3件、「車両・運搬具」「付帯施設」「OA機器」「その他」が1件ずつになる。

山梨県 サービス業 設備投資の状況



④ 経営上の問題点（回答企業数47社）

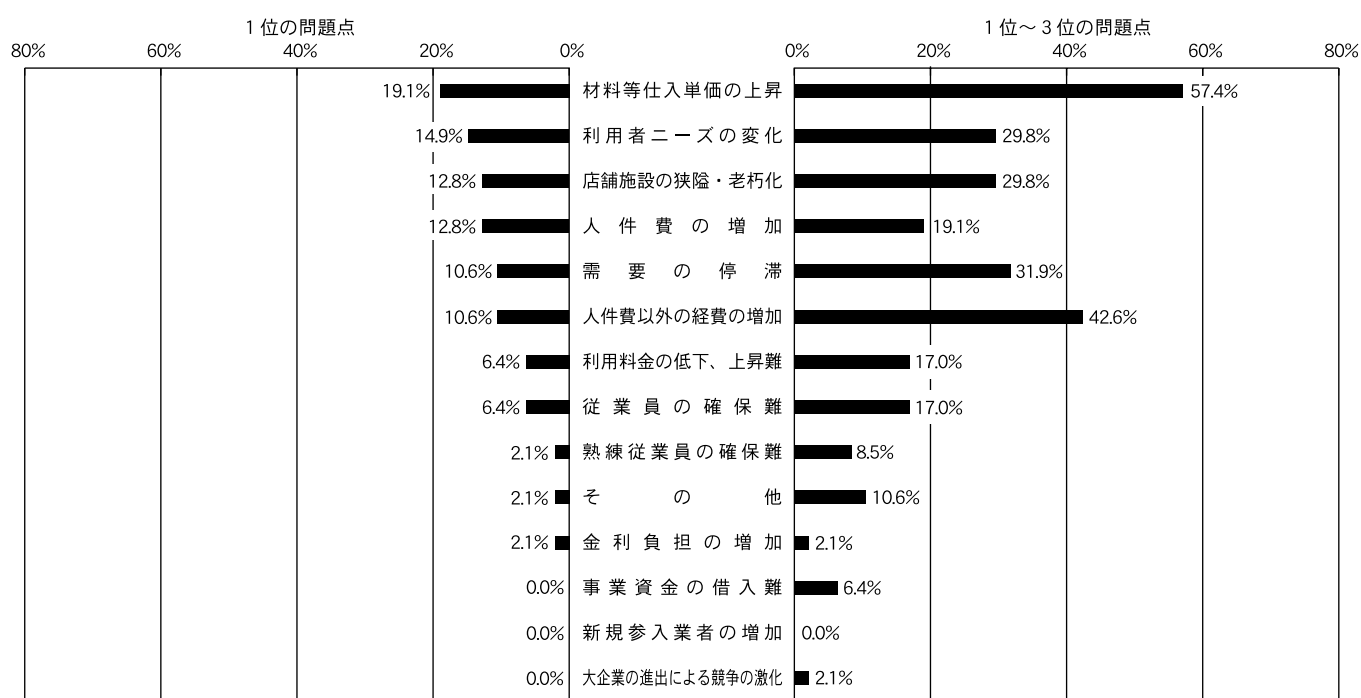
まず、経営上の問題点として、「1位」に挙げられたものからみていく。

1番目に多かったのは、「材料等仕入単価の上昇」の19.1%（9社）であり、2番目は「利用者ニーズの変化」の14.9%（7社）であった。

次に、「1位～3位」に挙げられたものをみる。

こちらでも、1番目に多かったのは「材料等仕入単価の上昇」の57.4%（27社）であるが、2番目は「人件費以外の経費の増加」で42.6%（20社）であった。

山梨県 サービス業 経営上の問題点



⑤ 回答企業の内訳

業種別

業 種	企業数	構成比(%)
一般飲食店（一般・遊興）	19	35.8
宿泊業	7	13.2
運送業	1	1.9
自動車整備業	4	7.6
洗濯・理美容業	19	35.8
その他のサービス業	3	5.7
合 計	53	100.0

従業員規模別

従業員数	常 雇 い		臨時等含む	
	企業数(社)	構成比(%)	企業数(社)	構成比(%)
2人以下	45	84.9	38	71.7
3人～5人以下	8	15.1	11	20.7
6人～10人以下	0	0.0	3	5.7
11人～20人以下	0	0.0	1	1.9
合 計	53	100.0	53	100.0